

# “オール岡大”で 大学を支える

特集  
Special Section

―同窓会と大学が一体となった「Alumni」設立の背景にある思いは。学長に就任した際、岡山大学同窓会は低いことが気にかかった。岡山大学は単科大学ではなく総合大学であることが強みだが、卒業生にとってはそれぞれの学部を卒業したという思いの方が強く、岡山大学というナショナルリズムが少ないと実感。卒業生には各学部の絆に加え、「岡山大学を卒業した」という共通の絆を持ってほしいと思った。また、同窓会は卒業生の組織であり、在学生や教職員、研究生らはこれまで構成員ではなかった。岡山大学を選び、教育・研究にかかわった人たちは岡山大学に対する熱い思い、共通の絆をぜひ持ってほしい。その気持ちで岡山大学の支援に、ひいては岡山大学の発展にもつながるだろう。

―これまでの岡山大学同窓会との違いは。卒業生だけではなく、在学生、教職員らも構成員に加わることだ。同窓会と大学が Alumni として同じ船に乗り、いわば「運命共同体」となる。卒業生と在学生のつながりを深く強いものと、就職活動や相談を緊密にできる機会があるだろう。

―Alumni 設立に向けて尽力されてきたが、その思いの原点は。岡山大学における全学同窓会は「岡山大学同窓会」として設立されてはいたが、わずかな予算で運営していたこともあって年に1、2回総会を開く程度で形式だけに終わっていた。私自身、会長を務めながらこのままでもいいのかと疑問を感じていたところ、大学側から岡山大学同窓会の抜本的改組構想の提案があった。岡山大学がそれ相応の地位を保っていくためには大学だけではなく卒業生の力が必須だ。

岡山大学は1949年の学制改革により岡山地区に所在していた旧制諸学校を包括して創立された。当時、私は前身の旧制第六高等学校（1950年3月廃止）にいたが、先生方から「一緒に新しい大学をつくらう」と思いを込めた勧誘があり、先生方も学生も皆が心一つに新制大学として頑張ってきた。だが、今日に至るまでの岡山大学に当時の熱い気持ちを引き継がれているかという点必ずしもそうではないだろう。私はあの時のエネルギーを後輩に伝えたい。卒業生には岡山大学の原点を思い出していただきたい。

―設立に向けて、各学部同窓会の意見集約に時間を要した理由は。Alumni は既存の各学部同窓会の上部組織なのか、並列組織なのか、その関係が最大の課題だった。Alumni と各学部同窓会で二重の会費が必要となるわけで、各学部同窓会への納入率低下や活

会を増やすなど、在学生にもメリットの大きいものにした。既存の各学部・学科同窓会においてもこうした事業を行っているが、学部・学科間で温度差がある。Alumni では在学生がどの学部に入學しているようにも卒業生の恩恵が受けられるシステムを作らなければならないと考えている。

―構成員となる教職員のメリットは。教職員も大学の知的な営みに深く関与し、大学を支えている。Alumni のネットワークを理解することによって岡山大学の全貌を知ることができ、各種機関との連携もしやすくなるだろう。卒業生ではない教職員にも岡山大学を愛する気持ちを持ってほしい。

―既存の各学部・学科同窓会との関係は。Alumni は岡山大学共通の組織であり、既存の各部・学科同窓会を無にするものではない。学長就任時から全学同窓会をつくる構想を立てていたが、各学部・学科同窓会との間でそのあたりを理解いただくのに時間がかかった。設立に至ることができたのは岡山大学同窓会長である小長氏のご尽力によるところが大きい。

―Alumni に期待を寄せて。卒業生らとの情報交換が行いやすくなり、在学生の就職支援にもつながる。最終的には岡山大学の大学全体のレベルを上げるサポーターになってもらいたい。運営基盤強化のための安定的な財源確保は今後の課題ではあるが、将来的に Alumni から研究資金が出るようになればこれほどうれしいことはない。岡山大学が知の養い手として発展するとともに世界的な学術研究の中で確かな存在感を与え、岡山大学で学んだすべての人が岡山大学のアイデンティティーに誇りを持つことができるよう、同窓会と大学が手を取り合って岡山大学を変えていかなければならない。岡山大学医学部卒の学長は私が初めてであり、だからこそ、それが私の使命だと思っている。

―Alumni に期待を寄せて。現状では各学部同窓会の活動には温度差があり、学部間交流もあまりない。Alumni を契機に各学部同窓会の学部間交流を活性化させたい。他学部の卒業生らと接することによってそれぞれの仕事の領域が広がるなど新しい世界の発見

●森田潔学長に聞く

## 大学、同窓会

### それぞれの発展を目指す 卒業生であり、学長としての使命



1953年 法文学部卒業  
元通産産業事務次官  
財経産産業調査会長、弁護士

### ●岡山大学同窓会長・小長啓二氏に聞く

#### 第一期生として

#### 岡山大学に寄せる熱い思い

動ベースの縮小化も懸念され、各学部同窓会の活動が制約されてしまうことになりかねないとの意見もあった。だが、Alumni と各学部同窓会とは並列関係で共存・共栄できるものであり、Alumni は各学部同窓会の活動を阻害するものではないということをお話いただいた。強く訴え、理解していただいた。

―Alumni に期待を寄せて。現状では各学部同窓会の活動には温度差があり、学部間交流もあまりない。Alumni を契機に各学部同窓会の学部間交流を活性化させたい。他学部の卒業生らと接することによってそれぞれの仕事の領域が広がるなど新しい世界の発見



## 岡山大学 Alumni (全学同窓会) とは

### 設立までの流れ

大学側から岡山大学同窓会の抜本的改組構想が提示され、昨年1月ごろから同窓会と大学とが連携した全国的ネットワーク組織「岡山大学 Alumni (全学同窓会)」設立の検討が始まった。森田学長と岡山大学同窓会長の小長氏の連名で同年10月に設立趣意書が発表され、今年1月から8月にかけて計4回の設立準備会を開き、大学執行部と岡山大学同窓会理事らが組織形態や会則、事業計画などを議論。10月1日の第5回設立準備会を経て10月19日に設立に至る。

### 構成員・組織形態について

Alumni はラテン語で「養われた者たち」を意味する。岡山大学 Alumni (以下、Alumni と表記) は岡山大学の知的な営みによって養われたすべての方々を指すものと考え、卒業生だけの岡山大学同窓会とは異なり、卒業生に加えて在学生や教職員、留学生、研究生など短期間でも岡山大学にかかわった人が構成員となる。大学側は岡山大学同窓会において顧問の立場だったが、Alumni においては理事として積極的に運営に関与することになる。また、Alumni は既存の各学部・学科同窓会から独立した組織として運営される。

※組織形態については表参照

### 主な事業計画について

#### 1 各地域への支部組織設置、学部を越えた交流の推進

全国的なネットワーク構築へ、Alumni 各支部設置に向けた作業を進める。学部同窓会の活動は各学部によって温度差があり、支部組織の有無もさまざまであることから、全国における学部同窓会支部の現状について調査し、関係者らと意見交換しながら各地域の実情を十分踏まえた支部を設置する。なお、愛媛県松山市では昨年より鶴翔会松山支部(医学部同窓会)、法文経・工学部同窓会愛媛支部合同の「岡山大学松山同窓会」が開かれており、既に学部を越えた交流が推進されているが、こうした同窓会活動の活発な地域から展開していく。Alumni 各支部の活動によって学部間交流や異業種交流の実現、発展を目指す。また、海外で活躍している卒業生も多いことから、外国人留学生同窓会と協力して海外支部も設置する予定。

#### 2 就職支援活動の強化

キャリア開発センターと協力しながら、Alumni のネットワークを使った全国的な就職支援を行う。在学生の国家公務員試験(総合職)合格率が高いことから、Alumni を通じて中央官庁幹部として働く卒業生らの力を借り、国家公務員合格者や就職希望者向けの講義・セミナーを充実させるほか、民間企業で働く卒業生らによる民間企業就職希望者への情報提供やオリエンテーションの機会を設けるなど、卒業生の経験やノウハウを在学生に伝える体制を整える。

#### 3 グローバル人材養成への協力

今年4月にグローバル人材育成院が発足し、海外の大学への留学や国際インターンシップなどのプログラムがあるグローバル人材育成特別コースが開設された。大学が主体となって行う事業に対し、Alumni としても奨学金などにより、より多くの海外留学推進に向け学生をバックアップする。

#### 4 新規研究プロジェクトの獲得

政府は成長戦略、科学技術振興などで時代先行の予算案策定に動いている。中央官庁に就職している卒業生も多いことから、Alumni として助成金公募情報のいち早い収集による大学の積極的な予算獲得を支援するなど、各界第一線で活躍する卒業生と大学との連携強化を推進する。

#### 5 岡山大学ならではのオンラインワンプロジェクトの発掘と推進

学生の活動を支援し、学術研究やスポーツ、文化などにおける優れた人材に対して助成(振興を目的とした顕彰など)を行い、岡山大学ならではのオンラインワンを実現する。

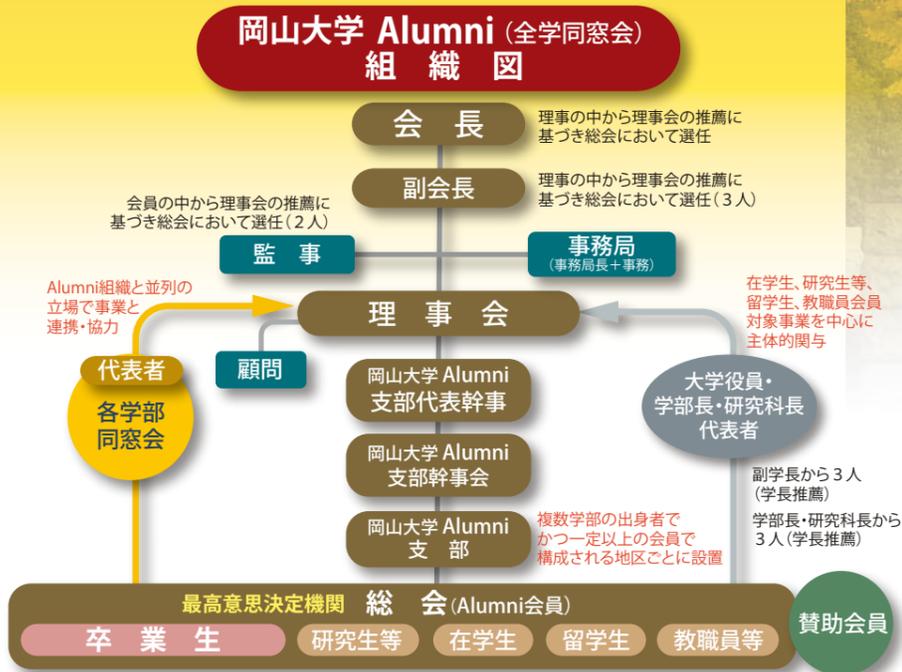
### 設立後の流れ

岡山大学同窓会は各学部同窓会の会員情報を保有していないため、各学部同窓会名簿の次回更新時に卒業生に Alumni への個人情報共有の同意を得ていく。また、校友会組織にも協力を依頼する。会員情報の共有作業は2018年度に完了予定。終身会費1万円は教職員

や卒業生から先に徴収し、来年度の新生から入学時に徴収する。今後はウェブ版コミュニケーションシステムを独自に構築し、会員に対する大学や同窓会の活動状況などのリアルタイムな情報発信や会員間のコミュニケーションを支援していく。

### 6 ホームカミングデイに関する支援

卒業生が同窓生や在学生、教職員らと交流・親睦を深めることを目的とし、2011年から毎年秋に大学が開催している「ホームカミングデイ」において充実した企画が展開できるように、Alumni として協力する。



表：岡山大学 Alumni 組織図

### ●荒木勝理事(社会貢献・国際担当)からひと言 基盤となる岡山大学を愛する気持ち



流動化する社会において大学を取り巻く環境も著しく変化し、経済的にも社会的にも厳しくなる中、岡山大学が高い成果を上げていくためには大学と Alumni の協力が必須。Alumni 設立の大きな特徴は同窓会と大学が双方の発展のために力を合わせ、強力なネットワークを再構築することにある。それを支える基盤は岡山大学を愛する気持ちであり、組織を作っても魂が入らなければ意味がない。各同窓会の活動支援や学生らの就職支援、留学支援など魅力的な事業を目に見える形で展開し、Alumni の存在が在学生や同窓生らに浸透することが急がれる。また、大学側としても在学生や教職員らに信頼されるよう努めなければならない。